

Freude

vol. 15-15. 2022.6.15. wed

三温差激しいよー
カラダをこわす

大阪フロイデ合唱団 Tel 06-6358-2626
〒530-0041 大阪市北区天神橋2-1-18-4B
ホームページ <http://www.osakafreude.com>
メールアドレス info@osakafreude.com

■今後どうするか (回答 36名/43名) 220529 アンケートのまとめ ※下線は実行済

1) 現在の練習 & 演奏会体制で続ける方法を考える。

①練習経費

a) 団費値上げ ・値上げは無理 7 ・値上げする 11

(値上げの具体例: 1万円まで可 4、5900円/月くらい 1、7~8000円 1、5000円以上随意 1
40人が残ってくれるギリギリのセンでの値上げ額を探る 1)

参考意見: クラシックレッスンなら月2回で1万円普通。いずみホールに立てる価値なら値上は理解できる。

b) その他の収入案 3 ・演奏会協力金を集める ・団費は据え置き & 常時カンパ ・クラウドファンディング

c) 経費削減案 3 ・事務所廃止 & レンタルボックスで ・紙の廃止 ・SNSデータ配信。

・会場の検討 (35万円/月は実は川口教会で算定。区民センターの6割価格)

d) 団員増を目指す 3 ・待機団員やOBたちの復帰意思確認を行う。

→コロナ前 64名中、今後の復帰可能性 9名、体調や仕事状況等で休団申告をされた方 22名

②演奏会経費

a) チケット値上げ

・値上げは無理、売れない 6 差し上げているので、値上げすると自己負担が大きくなり苦しい。1

・値上げはやむを得ない。7 (S5500, A5000, B3000 までなら 1、S6000 までなら。2)

b) チケット拡大方法 (ノルマ)

・ノルマを設ける 4 (・値上げ & 最低ノルマ方式、・きっちり団員人数割りのノルマを決める

・最低ノルマをチケット代金にして3万円分とし、最初に一括で集める)

c) その他収入案 ・団費の他に「演奏会協力金」を設定する。(毎月積み立てにするなど) 4

・クラウドファンディング ・プログラムに広告を載せる。広告料を取る。・グッズを作って販売?

・さまざまな助成金等に申し込んでみる。→今回大阪府に申請中

d) 客増案 ・曲目を知名度の高い曲にする。

e) 支出節約案

・演奏会の頻度を減らす 8 (1年に1回/5、1年半に1回/1、2年に1回/1)

・演奏会を練習体制が整うまで行わない。ずっと練習を行ってにおいて、状況が整ったら演奏会を決める/ 1

6/22(水) 渡辺 隆 (18:30~) (45名)
6/29(水) 天玉 弄 (18:30~)
7/3(日) 渡辺 隆 (13:19~) (朝潮橋)



2) 現在の練習・演奏会体制を変える

①練習体制

a) 練習回数を減らして支出を抑える 1 3

- ・日曜練習があった週の水曜は休む 3 ・練習を隔週に 1、・日曜練習、土日練習をやめる。減らす 2
- ・第五水曜はやめる 2 ・音とりは個人でして練習は合わせ練習のみとすれば練習回数を減らせる 1
- ・音取り CD 学習を充実することとして、練習を水曜 2 回 + 日曜 1 回/月にする。1
- ・演奏会を年 1 回として、練習は「半年休んで」「演奏会前半年練習」とする 1)

b) 小会場でも可能な日をつくる「男声日」「女声日」「合同日」とし、男声日は小さい会場にする。1

②演奏会体制

a) 変えるべきではない。6

- ・演奏会体制 (いづみホール & オケ) は変えると質が変わる。チケットも売りにくい。2
- ・今の先生方をお願いする以上「いづみホール & オケ」を続けないともったいない。3 ・ホール規模縮小やピアノ伴奏だと経費は抑えられるがチケット代も下げざるを得なくなる。賛成できない 1)

b) ホール (いづみホール) を変える 6

- ・市民会館に変える (豊中市民会館、阿倍野区民センター) 1 ・公民館に変えてチケットも 1000 円 ~ 2000 円にする 1 ・小ホールや教会を使って、ピアノやパイプオルガンでの演奏会 1

c) 毎回のオケはやめる。5 (具体案は下記 2 名)

- ・オケ演奏会とピアノ又はアカペラ音楽会を交互に 1 ・毎回のオケはやめる。「ピアノ + 三種」くらい。1

d) 出演者の選定 2

- ・ソリストをセミプロや音大生にする、またはソリストオーディションにする。・オケをアマチュアにする。

e) その他案

- ・オケ編成の小さい曲、ソリストなしの曲で出費を減らす・神戸フロイデとの合同演奏会にする 2
- ・オケの目玉曲 (人気の高い曲) をプログラムに入れる ・第九をやると団員が増えませんか？
- ・アヴェ・ヴェルム・コルプスのような曲を愛唱歌としてコンサートの定番曲にしたい。

3) 休眠

- ・演奏会を計画できなくても練習は続けたい。声がへたる。3 ・一度散ると戻らない。細々でも続けたい 2
- ・60 名程度のめどが立つまで休眠。復活後の多少の団費値上げはやむなし。
- ・休眠の際、年 1 回「参加の意志確認」の日を設け、メンバーや新人を集め、60 人以上集まれば再開。

4) 解散 ・今の練習と演奏会の形が維持できないなら解散もやむなし 1

5) 新しい HP をたちあげる。1 →担当者が 2 ヶ月の沈黙を破って突然復活しました。ご心配おかけしました。

6) ほかの 40 人程度の合唱団はどうしているのか？

回答ありがとうございました。

- いただいた回答から、少なくとも現在の三人の先生方のご指導と、練習は厳しいけれど、自己満足ではない達成感のある演奏、必ずお客様に届くステージをつくる、は大事にしたい、共通認識であると理解しました。
- アンケートでは、項目に分けて聞きました。そのため「練習経費削減案ならコレ」「演奏会経費削減案ならコレ」という回答をいただきました。しかし「演奏会削減案は出したが、練習と関連付けると、大阪フロイデの指導体制の値打ちに対してもったいない。団の売りがなくなる。」「案を聞かれたから出したが、自分で出した削減案で自分自身が歌いたいと言われると、そうではないかも」と、書いた内容と気持ちにずれがある話も聞きました。
- そこで、今回の回答内容を踏まえたうえで、少し、質問を整理しました。再度、お聞きしたいと思います。

再・アンケート（必ず全員提出ください）

再アンケートのまえに、今回のアンケートや現在の状況から、以下を確認事項として記載します。

- 1) 大阪フロイデ合唱団は、現在の三人の先生方（オーケストラの指揮者である亀井先生、関西を代表するオペラ歌手の田中由也先生、室内楽などさまざまな演奏会で活躍されている真壁先生）にご指導いただき、練習は厳しいけれど、必ずお客様に届くステージに到達できる、自己満足ではない、達成感のある演奏をつくる。を大事にしたい。
- 2) 練習と演奏会は、密接な関係。どちらかだけ切り離して削減案を立てても、あまり意味がない。
- 3) 次に進めるうえで 40 名はギリギリ。費用負担等 40 名以上が「可・参加したい」でなければ継続不可能。

これをふまえて、練習・演奏会についての質問にお答えください。四角内の自分の気持ちに近いものにマル。

もちろん、練習や演奏会に関しては、具体的には先生方とご相談することになります。内容によっては、先生に引き受けていただけない場合もあるかもしれません。ただ、まずここでは、みなさんご自身の気持ち、お金の都合、「これなら自分も参加する or 参加しない。これなら自分もお金を出せる or 出せない」をお聞きしたいです。

質問内容はみなさんの回答を集約して書きました。（クラウドファンディングの案もいただきましたが、まずは、継続する団運営として確実に経費を確保できるかどうか、を確認したいため、今回は外しています。）

●練習について

- 1) 練習内容を変えない（水 4 + 日 1/月平均）で、経費を団費で均等とする。（40 人なら 9000 円/月）
自分は

可能	不可能
----	-----
- 2) 練習内容を変えない（水 4 + 日 1/月平均）経費は団員負担だが、団費と協力金でタイミングを分ける。
（例えば練習期間 8 ヶ月として、団費 5000 円/月と、協力金を別途 30000 円、等）
自分は

可能	不可能
----	-----
- 3) 練習内容を変えない（水 4 + 日 1/月平均）経費は団員負担だが、団費とカンパとする。
例えば練習期間 8 ヶ月として、団費 5000 円/月と、不足 15 万円/月、全体で 120 万円をカンパで補う
自分は、カンパで不足分補填が

できと思う	できないと思う
-------	---------
- 4) 団費は据え置きで、練習回数を間引く（実質値上げ）。5000 円なら水曜日 3 回くらい。
（練習と練習の期間、自習復習で忘れないようにする。練習期間自体は長くなる可能性あり。
演奏会前の練習を詰める可能性があるため、譜読み時期はほぼ自習で身に着ける）
自分は

これでやりたい	これは受け入れられない
---------	-------------

※練習の間引き方は、団費を 5000 円ではなく 6000 円にした場合どうなるか、等バリエーションはあると思いますが、そもそも練習回数を減らせるかどうかは先生と相談しなければ決められないことなので、ここでは、具体的に掘り下げることはせず、お金負担の見方から「練習が少なくなって実質値上げになる、自主練習の比重と責任が増える、を自分で受け入れられるか」について、団員のみなさんの気持ちをお聞きしておきたいと思います。

●演奏会について

各項目の「不可」については、不可の理由も（前回アンケートの記載等から）書きました。ご自身に近いものにマル、または、不可の理由がほかにあるかたは、自由に記載いただいてもかまいません。

1) いずみホール&オーケストラ&ソリストを維持

自分は 維持すべき（大阪フロイデの売り・変えるべきではない） 維持しなくてもよい

2) ホールを変える（豊中市民会館、阿倍野区民センター等） オケ&ソリストは維持。

自分は 公民館でよい 響きの良い公民館でならよい。
いずみホールが売りなので不可 市民会館だと遠い市のお客さんが来にくいので不可
公民館だとチケット代を高くできないので経費が助かるか不明なので不可

3) オケではなく、ピアノ伴奏の演奏会の合唱団にする。いずみホールは維持。

自分は ピアノ伴奏でよい。 団の売りがなくなる不可
オケならごまかせてもピアノ伴奏だとごまかせない（？）合唱の質がより求められると思う不可

4) オケとの演奏会、と、ピアノ伴奏の演奏会を交互。いずみホールは維持。

自分は オケとピアノの交互でよい。 団の売りがなくなる不可 どちらかは出ないことになりそうで不可

5) ホールも演奏も変える。教会等でピアノやパイプオルガンとの演奏

自分は ホールも演奏も変えてよい。 全く違う団になってしまうので受け入れがたい

6) 共演者をアマチュアにする。またはオーディションする。

自分は 共演者をアマチュアでもよい プロの音楽家との演奏が売りなので不可
プロの音楽家だからこそ合唱団が安心して演奏できるのでアマチュアは不可
プロの音楽家を曲目に合わせて毎回選んでいただいているからこそ演奏が充実するので不可

7) 演奏会の開催、および開催頻度について※

※演奏会頻度＝練習期間は、音楽の完成度と密接ですので、先生にご相談する内容ですが、ここではあくまで、ご自身の売りやすさ、飽きないかどうか、の感じをお知らせください。

①演奏会と練習について

自分は 演奏会の目標（日程・曲目）があるからこそ練習に集中できる
演奏会が未定でも「次の演奏会で行う曲目」（日程が調整中等）なら練習に集中できる。
演奏会がなくても、単に練習だけでも自分が向上できるので可。

②演奏会の頻度について（チケットの売りやすさ）

自分は 演奏会は半年に1回がよい 1年に1回がよい 別に気にしていない特に関係ない

③練習期間の集中度合い

自分は飽きずに取り組めるか、同じ曲をどれくらい続けられるか

自分は 8ヶ月くらい 1年くらい それ以上でもよい、特に気にしていない